

報道関係者各位

2018年11月30日

プラスチック金型 CAD の最新版 TopSolid'Mold 7.12J を 12 月 3 日に発売

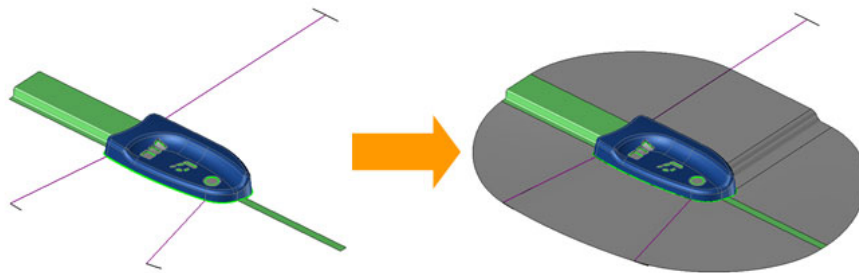
国内 4,500 社に CAD/CAM/CAE システムを提供しているコダマコーポレーション株式会社(本社:神奈川県横浜市、代表取締役社長:小玉博幸)は 12 月 3 日(月)、プラスチック金型設計支援システムの最新版である「TopSolid'Mold 7.12J」(トップソリッドモールド)を発売致します。

TopSolid'Mold 7.12J はフランスの CAD/CAM ベンダーである Missler Software 社が開発したシステムです。コダマコーポレーションは、Missler Software 社の国内総販売元として開発、販売、サポートを行っています。今回の最新版では、25 項目の新機能が搭載され、ユーザーの設計効率のさらなる向上を実現する強力なシステムとなっています。

今回発売する最新版「TopSolid'Mold 7.12J」の新機能の内、3 つを以下にご紹介します。

パーティング面の作成支援機能

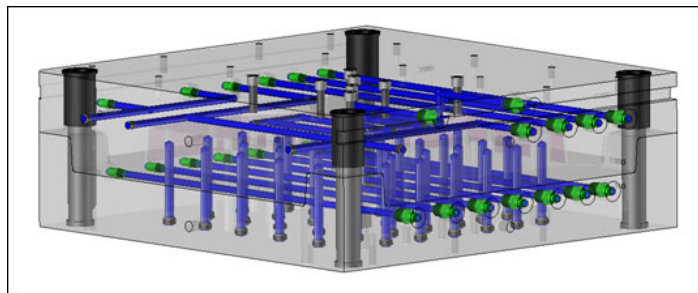
TopSolid'Mold 7.12J では、パーティングラインからパーティング面を自動で作成できるようになりました。予め作成した補助線や一部だけ作成したパーティング面があれば、これらを考慮して最適なパーティング面を短時間で作成できます。



冷却回路の設計支援機能

TopSolid'Mold は、冷却回路の O リングとプラグを自動で配置する機能がありましたが、TopSolid'Mold 7.12J では、継手も自動配置できるようになりました。また、自動で配置した部品の削除方法も簡便になりました。

さらに自動配置された冷却穴や部品の設定値を変更した場合に、表示色を自動的に変更することで識別しやすくなりました。

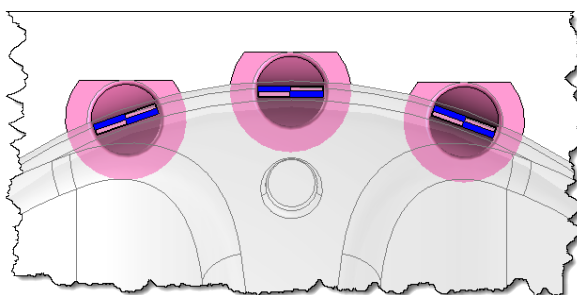


シンボルに合わせて角エジェクタピンを配置できるよう機能強化

TopSolid'Mold 7.12J では、スケッチで角エジェクタピンのシンボルを配置しておくことで、シンボルの位置とサイズに合わせた角エジェクタピンを配置することができ、より使いやすくなりました。

7.11J 以前では、角度や距離を指定して向きや位置を微調整する必要がありました。

これは国内の精密コネクタメーカーの要望をもとに開発された機能です。



対応している OS Windows 10 Pro、Pro for Workstation、Pro for Workstation Plus、
Enterprise、Education (64bit)
Windows 8、8.1 Pro、Enterprise (64bit)
Windows 7 Professional、Enterprise、Ultimate SP1 以上 (64bit)

価格 1,100,000 円(税別)
年間のメンテナンス料金を含まない、ソフトウェアライセンス使用权のみの標準価格です。
TopSolid'Design 7.12J が必要です。

お問い合わせ窓口

コダマコーポレーション株式会社 事業推進室 中條 貴之

TEL 045-949-1331 FAX 045-949-1515 E-mail bizinfo@kodamacorp.co.jp

URL <http://www.kodamacorp.co.jp/>

- * このプレスリリースに記載された会社名、商品名は、各社の商標、または登録商標です。
- * このプレスリリースに記載された情報は、発表日現在の情報であり、時間の経過または様々な後発事象によって変更される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。